

# NI Cシリーズ

## データ集録デバイスを採用する4つのメリット

～センサを用いたデータ集録アプリケーションに最適～



### 1 簡単セットアップ

#### デバイスの自動認識

USB、Wi-Fi、Ethernetデータ集録デバイスを管理ソフトが自動認識します。

#### TEDSセンサに対応

センサ情報を自動検出し設定できるため、計測ミスが防げます。多数のセンサを使用する際に便利です。

<http://www.ni.com/teds/ja/>

#### センサの直接接続が可能

計測モジュールには、接続コネクタと各種センサに対応した信号調節回路が内蔵されており、センサ計測が即実施できます（図1）。

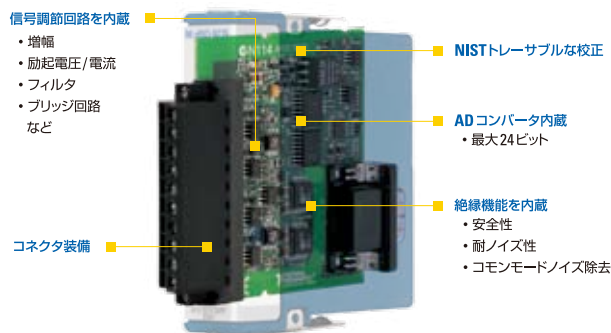


図1. 接続コネクタ、信号調節回路、ADコンバータを内蔵したCシリーズモジュール

### 2 拡張性とコストパフォーマンス

#### 30種類以上の計測モジュール

モジュールを自由に選択してキャリアに挿して使用します。モジュール式のため将来の拡張性とコストパフォーマンスに優れています。

#### 用途に応じてキャリアが選択可能

必要なチャンネル数、外部電源の有無、計測地点までの距離に応じて、最適なキャリアが選択できます（図2）。

#### NI LabVIEW SignalExpress LE（無料版）が付属

日本語版データロガーソフトが無料で付属してくるため、ソフトウェアへの追加投資が必要ありません。

	スロット数	電源	主な用途
	1	バスパワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可搬性が要求される計測</li> <li>・チャンネル数が少なくてもよい計測</li> <li>・低コストが求められる計測</li> </ul>
	1	外部電源 (バッテリー可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計測地点まで距離がある場合</li> <li>・移動体のセンサ計測 (Wi-Fi)</li> </ul>
	8	外部電源 (バッテリー可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的計測</li> <li>・センサを複数用いた同時計測</li> <li>・信号出力が必要（制御）</li> </ul>

図2. 用途に応じてキャリアが選択可能

### 3 NI LabVIEW SignalExpressによる生産性の向上

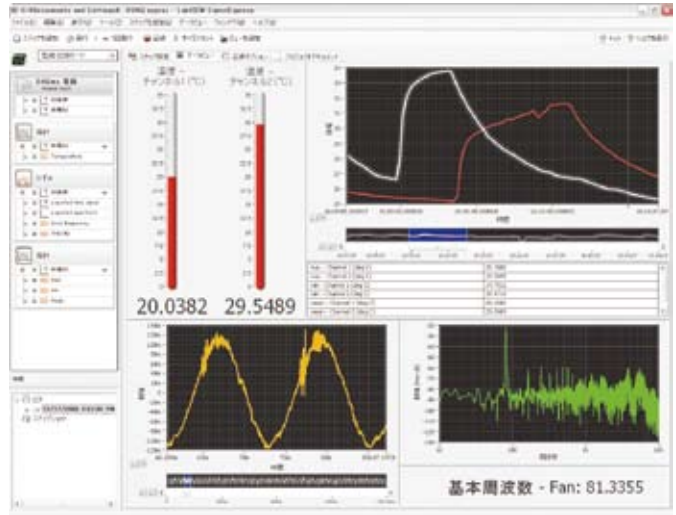
用途に応じて、最適なデータ集録ソフトをご用意しています。  
生産性の向上によるコストダウンが実現できます。

#### NI LabVIEW SignalExpress LE (無料添付)

プログラム不要のデータロギングソフト  
Excel等へのデータ保存  
保存データの再生

#### NI LabVIEW SignalExpress (有料)

FFT解析、統計処理など200種類以上の解析機能  
SPICE等のシミュレーションデータの読み込み  
パラメータ掃引、リミットテスト



LabVIEW SignalExpress	データ保存 (オフライン解析)	FFT解析・統計解析 (オンライン解析)
無料版	○	×
有料版	○	○

[www.ni.com/labview/signalexpress/ja/](http://www.ni.com/labview/signalexpress/ja/)

※より高度なカスタマイズが必要な場合は、プログラミング言語のNI LabVIEWが最適です。

### 4 各種アプリケーションでの採用実績

#### 開発部でのベンチトップ計測

#### CompactDAQ



- 拡張性
- オンライン解析
- コンパクト

#### 原子炉ポンプの振動監視

#### USB キャリア



- バスパワー
- 振動解析 (FFT)
- コンパクト

#### 移動する対象物の計測

#### Wi-Fi DAQ



- 無線
- オンライン解析

#### 車載データ集録

#### CompactDAQ



- コンパクト
- 多チャンネル同時計測
- ハードウェアの拡張性
- オンライン解析

## 日本ナショナルインスツルメンツ株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 ダヴィンチ芝パークビルA館4F

TEL : 0120-108492 FAX : 03-5472-2977 Email : marketingjapan@ni.com

